

表-1 死亡者数と死亡者指数

	和暦(西暦)	人数	指数	参照事項
高死亡年	天保8年(1837)	202	2.51	ききんきかつ・かつへ死・大疫病(土井家作帳), 疫病流行(岡田屋日誌), 麻疹流行・瘟疫流行・大飢饉(鶴亭日記)
	文化3年(1806)	155	1.93	
	天明5年(1785)	145	1.80	飢饉(広島県史)
	安政3年(1856)	142	1.77	
	享和3年(1803)	132	1.64	麻疹流行(耳の垢・鶴亭日記・佐伯郡医師会史)
	慶応元年(1865)	132	1.64	
	天保14年(1843)	132	1.64	風邪流行(岡田屋日誌)
	文政6年(1823)	130	1.62	麻疹大流行(鶴亭日記)
	天保2年(1831)	130	1.62	近年凶作打続(岡田屋日誌)
	文久2年(1862)	128	1.59	麻疹并ニ暴吐瀉急症(諸願書附控), 麻疹に引きつづき暴吐瀉病大流行(耳の垢), 暴吐瀉病流行・麻疹大流行(佐伯郡医師会史)
	文政5年(1822)	124	1.54	虎狼痢(鶴亭日記)
中死亡年	文化11年(1814)	113	1.40	
	文政10年(1827)	110	1.37	
	天明4年(1784)	109	1.36	疫病(広島県史), 疫病流行(佐伯郡医師会史)
	慶応3年(1867)	106	1.32	村内難渋者へ助勢(諸願書附控)
	文化9年(1812)	104	1.29	
	文政9年(1826)	104	1.29	麦悪年(土井家作帳)
	嘉永2年(1849)	104	1.29	
平常年	文久元年(1861)	95	1.18	日照(土井家作帳), 村方難渋(諸願書附控)
	寛政10年(1798)	94	1.17	
	嘉永4年(1851)	94	1.17	諸人難渋(耳の垢), 大悪年(土井家作帳), 世上取引荒々敷(岡田屋日誌), 昨年柄作方不宜(役方諸用控帖), 村方難渋(諸願書附控)
	文政元年(1818)	93	1.16	
	文化10年(1813)	91	1.13	
	文化8年(1811)	88	1.09	
	安政元年(1854)	88	1.09	早魃ニ付村内殊之外大難儀(土井家作帳), 大地震(岡田屋日誌), 早損難渋(役方諸用控帖)

(注) 杉山聖子「近世瀬戸内農村における死亡クライシスの実態—広島藩領・安芸国賀茂郡黒瀬組の1寺院過去帳を分析事例として—」『歴史と経済』第188号, 2005年, 1-16頁より作成。